

# 1年生 国語の学習の進め方

## 通知票の見方

○三つの評価の観点、ABCの目安は次の通りです。

A…とても良くできる      B…まずまずできる      C…一層の努力が必要

### ①知識及び技能

漢字テスト、定期テストにおける言語に関する点数、硬筆・書き初めなどをもとに評価します。

### ②思考力、判断力、表現力等

作文活動、授業内で行うスピーチ、定期テストの読解問題の点数などをもとに評価します。

### ③学びに向かう力、人間性等

ノート・ファイル等の提出物、課題作文、発言や話し合い活動等の授業態度、暗誦テストなどをもとに評価します。

○五段階の評定は、このABCを元に算出します。Aを3点、Bを2点、Cを1点として、合計が9→5、8→4、7・6・5→3、4→2、3→1が基準になります。

## 1学期の学習

○詩「ふしぎ」○物語／小説「桜蝶」○話す聞く「お気に入りの一品を紹介する」

○話す聞く・書く「言葉と社会1 言葉とコミュニケーション」

○言語「文法の小窓1 言葉の単位」

○説明「自分の脳を知っていますか」○書く「資料から得た根拠をもとに意見文を書く」

○漢字「漢字の広場1 漢字の部首」○書写（硬筆）

○言語「言葉の小窓1 日本語の音声」

○話す聞く「内容を整理して説明する」○読書「ベンチ」

○メディア「メディアと表現 全ては編集されている／写真で『事実』を表現する」

○漢字「漢字の広場2 画数と活字の字体」○書く「材料を整理して案内文を書く」

## 2学期の学習

- 総合（SDGs）「持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう」
- 説明「森には魔法つかいがいる」○言語「文法の小窓2 文の成分」
- 書く「根拠を明確にして意見文を書く」○メディア「メディアと表現 広告の情報を考える」
- 古文「昔話と古典——箱に入った桃太郎——」○古文「物語の始まり——竹取物語——」
- 漢文「故事成語——中国の名言——」○読書「蜘蛛の糸」○詩「河童と蛙」
- 小説「オツベルと象」○書く「随筆を書く」○言語「言葉の小窓2 日本語の文字」
- 説明「子どもの権利」○話す聞く・書く「言葉と社会2 イメージを言葉にする」
- 話す聞く「調べた内容を聞く」○漢字「漢字の広場3 漢字の音と訓」○書き初め（毛筆）

## 3学期の学習

- お菓子作文作成 ○報告／参考「言葉がつなぐ世界遺産 橋本典明／地域から世界へ——ものづくりで未来を変える——」○書く「読み手を意識して報告文を整える」
- 言語「文法の小窓3 単語のいろいろ」○話す聞く「発言を結びつけて話し合う」
- メディア「メディアと表現 漫画で『物語』を表現する」
- 漢字「漢字の広場4 熟語の構成」○詩「四季の詩」○小説「少年の日の思い出」
- 言語「言葉の小窓3 方言と共通語」

# 令和3年度 社会科 年間シラバス

朝霞市立朝霞第一中学校

学 年	1年	教科 書	地 理 (新しい地理) 東京書籍 歴 史 (新しい歴史) 東京書籍 地図帳 (中学校社会科地図) 帝国	地理 地理の資料集 (浜島書店) 歴史 歴史資料集 (浜島書店) 問題集 地理・歴史 (新学社)
--------	----	---------	---	--

## 1 学習到達目標

中学校で学ぶ「社会」は、地理的分野・歴史的分野・公民的分野に分かれます。1年では、地理的分野の半分と歴史的分野の室町時代までを学習します。中学校社会科の教科としての目標は以下の5点です。

- ① 広い視野に立ち、社会に関する関心を高めること。
- ② 資料に基づいて多面的、多角的に考察すること。
- ③ 日本の国土と歴史について理解と愛情を深めること。
- ④ 公民としての基礎的教養を養うこと。
- ⑤ 国際社会を生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うこと。

3分野の学習を通して、これらの達成を目指していきます。

## 2 学習方法

社会科には各単元の目標があり、そこから各時間の学習のねらいや目標が設定されています。今日の授業のねらいは毎回板書し、確認しますので、意識しながら授業を受けましょう。そのねらいにせまるために、先生が講義するだけでなく、自分で考えたり、自分の考えを言ったり、友達と交流したりする場面に授業内に設定していきます。指示をよく聞き、今何をすべきなのかとらえて授業の流れについていきましょう。授業の終わりにはねらいに対するまとめができる状態になっていることが大切です。忘れ物をしたり、配布物をなくしたり、宿題忘れをしたりするとそれだけで全体の学習の動きに対応できなくなりますので気を付けましょう。また、休んでしまった場合は授業プリントをもらい、友だちに見せてもらって記入しておきましょう。

- ① 自分の理解状態をつかむこと。  
学習する時に大切なことは、いつも「どこが分かっているのか、どこが分かっているのか」をはっきりさせることです。プリントやノートの脇に言葉の意味をメモたり、教科書で調べたりして基礎的知識を確実にしていくことが大切です。
- ② 学習したことどうしの関係をつかむこと。  
学習することとは、バラバラな知識を詰め込むことではありません。自分がそれまでに知っていることがらと結びつけることが大切です。イメージマップを使って知識をつなげていく学習も効果的です。
- ③ 社会科に関心をもてるような工夫や環境づくりをすること。  
テレビのニュース、新聞などにできるだけ関心をもち、家族と話したり、地図ですぐに確認したりしましょう。100円ショップでも世界地図や日本地図を売っているので、テレビの横に一枚常備（できれば掲示）しておくことをお勧めします。

## 3 家庭学習

社会科では予習よりも復習に力を入れてほしいと思います。

- ① **まず自分が何をよくわかっていないのか知ること。**  
・ 授業のプリントやノートを見返して、自分はどこをよく理解していないのかを確認する。わからない言葉（人物・出来事）はそのままにせず、教科書を読んで理解したり、家庭学習ノートに箇条書きでまとめたりする。図や表に書くのもよいですね。
- ② **問題集を繰り返し解く。**  
・ 問題集をたくさん（繰り返し）解いて問題や資料に慣れる。ある程度、出題パターンを覚えることで大事なところが自然と身につきます。
- ③ **すぐに復習する習慣をつける。**  
・ 1回の授業の内容はそれほど多くはありません。その日のうちに学習したところを問題集で復習しましょう。1回目は家庭学習ノートにやり、テスト前には直接ワークに書きこんで理解することが大切です。

#### 4 学習内容及び評価について

月	学 習 内 容	試 験	評 価 観 点	評価の場面・方法
4	オリエンテーション <地理> 1 世界と日本の姿	中間試験	<p>○社会的事象への関心を持ち、その課題に意欲的に取り組み、よりよい社会について考えていこうとする姿勢が見られるかどうか。</p> <p>・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。</p> <p>・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。</p> <p>・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。</p> <p>・未到達な内容についてどれだけ努力でたか</p>	<p>・ワークシートへの記入状況</p> <p>・授業態度（発表等の積極性、忘れ物の状況）</p> <p>・提出物の状況</p> <p>・学習課題への取り組み方</p>
5 6	2 世界各地の人々の生活と環境	期末試験		
7	<歴史> 【古代までの日本】 1 世界の古代文明と宗教のおこり			
9 10	2 日本列島の誕生と大陸との交流 3 古代国家の歩みと東アジア世界 【中世の日本】 1 武士の政権の成立	中間試験	<p>○社会的な事柄について、自分で問題を見つけ、それについて多面的、多角的に考え、公正に判断し、適切に表現することができるか。</p> <p>・課題に対しデータに基づいて多面的に考察できたか。</p> <p>・課題を追求する方法を工夫して考えられたか。</p> <p>・学習を通して、自らの生活と照らし合わせ新たな課題を持つことができたか。</p> <p>・思考を問う問題を解くことができたか。</p>	<p>・記述式テストの状況</p> <p>・レポート作成状況</p> <p>・グループワークの取り組み状況</p> <p>・自分の考えの発言、記入状況</p> <p>・提出物の状況</p>
11	2 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	期末試験	<p>○各種の資料(教科書・資料集・地図帳・その他の資料)を適切に選択し、効果的に活用できる。</p> <p>・資料の活用方法を身につけることができたか。</p> <p>・さまざまな統計・歴史資料や地図などを読みとることができたか。</p> <p>・調査した内容をわかりやすく伝えることができたか。</p> <p>・調査した内容を工夫してまとめることが</p>	<p>・資料を活用した各テストの状況</p> <p>・提出物の状況</p> <p>・ワークシートへの取り組み状況</p> <p>・授業内の学習課題への取り組み</p>
12	<地理> 第3章世界の諸地域 1 アジア州	学年末試験		
1	2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州			

2	4 北アメリカ州		できたか。	
	5 南アメリカ州		・資料を読みとる問題を解くことができたか。	
3	6 オセアニア州	次年度	知識・理解 ○社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。 ・知識や理解を問う問題を解くことができたか。	・定期テスト ・小テスト

#### 4 評価について

(1) 評価の観点 (各観点 A～C の 3 段階)

① 知識・技能

② 思考・判断・表現

③ 主体的に学習に取り組む態度

A→十分満足している

B→おおむね満足している

C→「B」に達していない

(2) 評定

上記の 3 つの観点の A～C の組み合わせによって教科として 1～5 の評定がつきます。以下の組み合わせを基本としています。

5→すべての観点が A 評価である。

4→最低 2 つ以上の観点が A 評価で C 評価がない。

3→C 評価が 1 つ程度まででおさまっている。

2→いずれかの観点が C 評価以外の評価がある。

1→すべての観点が C 評価である。

# 朝霞第一中学校 第1学年 数学の学習の進め方

～ 数学の授業を通してこんな生徒になってほしい ～

- ・わからないことをわかって、努力を続ける生徒
- ・物事をすばやく処理したり、筋道を立てて考えることのできる生徒
- ・思いやりの気持ちを忘れずに、まわりの人々と協力できる生徒

## 1. 授業への取り組み方

### ①小テスト

授業のはじめの5分間程度で、小テストに取り組みます。毎回きちんと取り組んで、数学の基礎基本をしっかり身につけましょう。

### ②ノートの取り方

- ・問題練習の答え合わせは、すばやく、確実に行いましょう。分からないままにしておいたり、間違いを直さないでおいたりすると、力になりません。
- ・図は大きくていねいにかきましょう。図をきちんとかくことは、数学の力を高めることにつながります。
- ・教科書p.14、15の参考例(マイノート)も見てください。

### ③話の聞き方

- ・先生の話で大事な点は、メモをとるなど工夫すると数学の力がつきます。特に数学の式表現や独特の言い回しなど、教科書には載っていない説明でも大事な内容があります。話をしっかり聞くことを、日頃から心がけましょう。
- ・友達の意見を聞くときは、自分の考えと比較して聞かましょう。自分の考えが、より深くなります。

## 2. 提出物について

### ①ワーク

- ・定期テストごとに集めます。
- ・授業評価に加えます。ワークは学習したことを、どれだけきちんと身につけようとしているのか、その人の努力する姿勢が見えるものです。たくさん間違えているからダメだということはありません。粘り強く取り組んでください。

**【ワークの取り組み方】 ※授業内で配ったワークの取り組み例を参照してください**

- ・途中式を書くようにしましょう。筆算や計算メモなども残しましょう。きれいに消す必要はありません。
- ・間違った問題には、必ず赤ペンで直しをしましょう。
- ・わからなかった問題でも、解答を見て考え方を記入しましょう。
- ・計算スペースが足りない場合には、別のノートをはさんでも構いません。  
(提出するときは、別のノートをはさんで提出。)

### ②テスト直しレポート

- ・定期テストはもちろん全員提出です。単元テストについても提出してもいいです。
- ・テストは何点とれたかも大切ですが、同じ問題が出たときに必ず解けるようにしておくことが重要です。

## 3. 家庭学習について

数学は復習に力を入れて取り組んでほしい教科です。特に授業で取り組んだ問題を家でもう一度解いてみて、もしも解けなかったら、自分が分かったつもりになっていた問題です。力を入れて復習してみてください。次の授業への準備につながります。

## 4. 評価について

3つの観点をA,B,Cの3段階で評価します。

A：十分満足できるもの　B：おおむね満足できるもの　C：努力を要するもの

### ① 知識・技能

数量や図形の基礎的な概念等を理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けることができる。

### ② 思考力・判断力・表現力

事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に判断・表現をすることができる。

### ③ 主体的に学習に取り組む態度

忘れ物、問題集の提出・内容、授業中の挙手発言、意欲的な授業への取り組み、自己評価カード、レポート等、総合的に判断します。私語などの授業を妨害することは大きく減点されます。

①、②については、定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での取り組みを中心に、評価項目にあった内容部分の得点をもとに、A, B, Cで評価しています。

### 【評定について】

各評価の観点ごとA,B,Cの評価をもとに総合的に判断し、5段階の評定で評価します。

(例) AAA→5　AAB→4　AAC (ABB) (BBB) (ABC) (BBC) →3　BCC→2　CCC→1

### 【学年評定について】

1学期から3学期までの観点別評価と評定をもとに、学年の観点別評価(A・B・C)と評定(5段階)を行います。

### 【1年間の学習内容】

#### 0章 正負の数

・整数の性質

#### 1章 正負の数

・正負の数　・加法と減法　・乗法と除法　・正負の数の利用

#### 2章 文字と式

・文字を使った式　・文字式の計算　・文字式の利用

#### 3章 方程式

・方程式とその解き方　・1次方程式の利用

#### 4章 比例と反比例

・関数と比例・反比例　・比例の性質と調べ方　・反比例の性質と調べ方　・比例と反比例の利用

#### 5章 平面図形

・図形の移動　・基本の作図　・おうぎ形

#### 6章 空間図形

・いろいろな立体　・立体の見方と調べ方　・立体の体積と表面積

#### 7章 データの分析と活用

・データの整理と分析　・データの活用　・ことからの起こりやすさ

コンパス

三角定規が必要になります。

電卓が必要となります。

## 令和3年度 第1学年 【理科】シラバス

### 1 理科の教科目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

### 2 評価の観点と評価方法 (通知表の観点欄に対応)

① 知識・技能	観察・実験を正確・安全に行えるか パフォーマンス テストの結果や普段の実験への取組の様子 授業プリント・レポートなどの工夫
評価資料	定期試験での観察・実験を問う問題 実験中の実験器具の取り扱い方 パフォーマンステストの結果
② 思考・判断・表現	事物・現象を科学的に考えられているか 発表内容 発言内容 授業プリント・レポートなどの考察欄 定期試験
評価資料	定期試験での科学的思考力を問う問題 授業内の考察 レポートでの考察 授業プリントへの記入
③ 主体的に学習に 取り組む態度	授業中への取組の様子 提出物 着席チャイム 聞く姿勢 挙手・発言 話し合い活動での様子 実験への取組の様子 (積極的、自主的に行えているか)
評価資料	授業中の態度・様子 学習記録カード 実験中の態度・様子 提出物 (学習記録カード・授業プリント・問題集・実験レポート 等)

### 3 評定について

- ① 通知表の5段階評定は、観点別の評価によって判断します
- ② 観点の達成率が
 

十分満足できる	…評価 A
おおむね満足できる	…評価 B
努力を要する	…評価 C

#### ● 5段階評定の算出の仕方

観点別評価の組み合わせ	評価
A A A	5
A A B	4
A A C A B B B B B A B C B B C	3
B C C	2
C C C	1

※観点の位置が入れ替わっても全て評価は同じ (例 AAB→4、ABA→4)

#### 4 家庭学習について(入試対策も含む)

- ①教科書の太字部分を中心に、語句の意味を調べる。
- ②教科書に載っている公式を確実に覚え、例題を見て計算方法を覚える。
- ③記憶教科と言われがちだが、1年生の内容が、3年生の内容まで繋がっていることも多く、分野ごとに学習する(学習し直す)とわかりやすい。
- ④1年生で習う内容を、3年生でも扱うことがある。  
例) ガスバーナーの使い方、プレパラートの作り方、顕微鏡の使い方 等
- ⑤実験の結果(グラフや数値などのデータ) を元に、計算問題や考える問題が出題されることが多い。
- ⑥ワークに似た問題が、定期テストには出題されることも多い。
- ⑦入試問題は、1つの大問の中に、1年生から3年生までの内容が散りばめられていることが非常に多い。  
※断片的に覚えているだけでなく、学年毎に学習した知識を繋げて活用できないと、解けないような形で出題される。
- ⑧入試問題では、1・2分野で問いが大きく分けられておらず、「1問目…1分野の問い」「2問目…2分野の問い」のように、分野が交互に出題されることもある。

#### 5 1年間の学習内容(単元一覧)

- 単元1 いろいろな生物とその共通点
  - 第1章 生物の観察と分類のしかた
  - 第2章 植物の分類
  - 第3章 動物の分類
- 単元2 身のまわりの物質
  - 第1章 身のまわりの物質とその性質
  - 第2章 気体の性質
  - 第3章 水溶液の性質
  - 第4章 物質の姿と状態変化
- 単元3 身のまわりの現象
  - 第1章 光の世界
  - 第2章 音の世界
  - 第3章 力の世界
- 単元4 大地の変化
  - 第1章 火をふく大地
  - 第2章 動き続ける大地
  - 第3章 地層から読みとる大地の変化

# 1年生 音楽について

## ○学年目標 「大きな声で、楽しく歌おう」

- ・音楽活動の楽しさを通して、興味・関心を養い生活を明るくする態度を身につけよう。
- ・音楽の豊かさや美しさを感じ取り、表現の工夫を考えよう。
- ・積極的に学習に取り組み、基礎的な表現の技能と、創意工夫して表現する力を養おう。
- ・日本と世界の音楽に興味を持ち、鑑賞する力をつけよう。

## ○ 目標達成のために

- ・合唱に主体的に取り組み、大きな声で歌おう。
- ・グループやクラスで活動するときは、協力しよう。
- ・仲間の発表や鑑賞曲を聴くときは、集中して、音楽の良さを感じ取ろう。

## 1. 学習内容

- ♪歌唱 混声三部合唱（ソプラノ・アルト・テノールによる構成）の楽曲が中心になります。学年が上がるにつれ、難易度の高い曲にも挑戦していきます。
- ♪器楽 器楽の教科書を中心に、アルトリコーダーの基礎・基本を学習し、美しい音色のリコーダー演奏を目指します。
- ♪鑑賞 音楽の教科書を中心に、音楽史上優れた作品や世界の音楽、日本の伝統的な音楽など幅広いジャンルを鑑賞していきます。

## 2. 評価について

評価の観点	十分満足=A	おおむね満足=B	評価の材料
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>・忘れ物がない</li><li>・授業に遅れない。</li><li>・精一杯歌い演奏する。</li><li>・積極的意欲的に授業に取り組む。</li><li>・提出物の期日を守る。</li><li>・顕著な内容の感想を書いたり発表できる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・やることはやる、基本的な姿勢で臨む。</li><li>・課題に真面目に取り組む。</li><li>・提出物の期日を守る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・日常の取組の様子</li><li>・忘れ物</li><li>・提出物</li><li>・定期テスト</li></ul>
音楽表現の創意工夫	<ul style="list-style-type: none"><li>・楽曲のよさを感じ取り、雰囲気や強弱記号を生かした表現をしようとしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・楽曲のよさを感じ取り、表現しようとしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・日常の取組の様子</li><li>・歌のテスト</li><li>・リコーダーのテスト</li><li>・定期テスト</li></ul>
表現の技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・強弱記号などの意味を理解し、表現に生かすことができ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・基本的な記号などの意味を理解し、表現に生かす</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・日常の取組の様子</li><li>・歌のテスト</li></ul>

	る。 ・パートの役割を理解し、正しい音程で歌い演奏できる。	ことができる。 ・おおむね正しい音程で歌い演奏できる。	・リコーダーのテスト ・定期テスト
鑑賞の能力	・作曲者や曲の背景、特徴などを理解し音楽的知識を積極的に深めようとしている。 ・曲のよさや美しさなどを感じ取り、自分なりの感想を書いたり発表できる。 ・積極的、意欲的に鑑賞できる。	・作曲者や曲の背景、特徴などを理解し、基本的な知識を身につけようとしている。 ・曲についての感想を書くことができる。 ・曲を味わおうと努力している。	・日常の取組の様子 ・鑑賞プリント ・定期テスト

\*音楽科ではテストの点数だけでなく**日常の取り組みを重視**しています。

例えば、テストの点数がよくても日常の取り組みが悪ければ高い評価はつけられません。

(授業に取り組む姿勢・精一杯歌い演奏する・パート練習の取り組み方・遅刻、忘れ物をしない等)

**テスト・日常の取り組み共に精一杯努力することが大切です。**歌がうまい、下手はあまり関係ありません。とにかく一生懸命に授業に参加できることが大切です！

### ♪授業のルール♪

- |                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 着席チャイム(遅刻厳禁)  | 5. 授業中の私語厳禁                   |
| 2. 挨拶をして入室・退室    | 6. パート練習など協力する                |
| 3. 授業の始まりと終わりの挨拶 | 7. パートリーダーの指示に従う              |
| 4. 返事をしっかり       | 8. 動作の後は静かに<br>(静かにするまで待ちます…) |

### 授業の持ち物(全て学校に置いていってOK)

- |               |                |                   |
|---------------|----------------|-------------------|
| 1. 教科書(音楽・器楽) | 2. コーラスフェスティバル | 3. ファイル           |
| 4. アルトリコーダー   | 5. 筆記用具        | *これらすべてをケースに入れて持参 |

♪このクラスで作る音楽は今年1度限りです。全員で良い雰囲気です授業を進めていきましょう。

いつもやる活動は…ストレッチ・発声・校歌・「夢の世界を」です。

流れを覚えてスムーズに動けるようになりましょう。1年間よろしくお願いします。

# 令和3年度 美術科シラバス

## 学校教育目標

- ・ 自ら学ぶ生徒
- ・ 思いやりのある生徒
- ・ 健康につとめる生徒

## 美術科目目標

- ・ 楽しく美術を主体的に取り組む活動
- ・ 意図に応じて創意工夫し美しく表現しようとする活動
- ・ 対象を深く見詰め感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出す活動
- ・ 作品への理解や見方を深め、よさを感じ取る活動

## 生徒にめざしてほしいこと

- 1 感動する心を大切にし、心を豊かにする。
- 2 自分らしさを知り、表現や工夫する能力を身につける。
- 3 計画的に制作をし、粘り強く最後まで仕上げる力を身につける。

## 学習内容

A 表現	(1) 絵や彫刻に表わすことによる発想や構想+創造的技能		(2) デザインや工芸に表わすことによる発想や構想+創造的技能	
	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第1学年	○	○	○	○
第2学年	○	○	○	○
第3学年	○	○	○	○

	1年	2年	3年
1 学 期	美術の内容を理解し、表現することの楽しさや、素晴らしさを感じ取る。 対象を観察して描くことを通して本質を見極める力を養う。 形、色彩など、特徴をとらえて自分らしい表現する。	奥行きや広がり空気感等、様々な感覚を大切にし、平面における立体表現を理解する。 自分自身を客観的に見つめ、内面的なテーマを踏まえ、自分らしさを表すための表現を工夫して制作する。	テーブルで使うもので実際に使えるものを作る。 鋳物の技法を使った工芸品の要素をもつものを作る。 平面のアイデアから立体に展開し、創造的な感覚や力を養う。
2	アイデアスケッチから作品制作の流れを習慣付	遠近法の描きかたを学習し、一点透視図法を使って	3年間の学校生活を振り返り、色彩豊かに自由な作品を

学 期	け、平面から立体への創造力を養う。 木材の特性を学習し、やすりで削る、彫刻刀で彫る、着色を施す等の技法を使って作品を自分らしく表現する。	自分の部屋をデザインする。 自分らしく色彩豊かに平面構成をする。	作る。 自分らしい効果的な方法を用いて表現する。 スクラッチ絵画の特徴を生かして楽しみながら制作する。
3 学 期	色の三要素や類似・対照・補色など、色の性質と色の性質と効果を理解する。 レタリングの基本的な技能を身に付ける。	版の種類を学習し、ステンシルを用いた基礎的な表現を使って自分らしく表現する。	卒業を控え、長く記念に残るものを作る。 身近なもののデザインに親しみを持つ。 マイオリジナルの缶バッジ製作を通じて自分らしさを表現する。

#### 評価の方法

作品、授業の様子、制作活動の観察、作品制作の過程、生徒の活動の様子、  
レポート制作、鑑賞プリントの記録

#### 三つの達成目標の関わり

学力——制作レポートの記述やその日の内容の確認など、文章で表現する。  
規律ある態度——授業規律や話を聞く態度を身につける。その場に応じた指導と助言により、生徒の規律ある態度の育成に努める。

# 第1学年 保健体育科 学習案内

## 【評価の進め方】

※各観点別について（各選択種目の総合点で算出）

8割達成⇒A, 5割達成⇒B, 5割以下⇒C

※観点別の内容について

### ◆知識及び技能

- ①学習カードの内容やルールを理解度
- ②それぞれの選択種目の技能チェック
- ③授業の観察（ゲームの様子等）
- ④確認テスト

### ◆思考力, 判断力, 表現力等

- ①体育授業の参加状況（服装等）
- ②学習カードの内容
- ③授業の観察（練習の工夫, 仲間へのアドバイス等）

### ◆学びに向かう力, 人間性等

- ①体育授業の参加状況（見学, 欠席, 忘れ物）
- ②カードの提出状況と内容
- ③授業の観察（声, 積極性）

※評定は、総合点で算出する。

※例年この流れで行っていますが、新型コロナウイルス対策や県の要請により変更がありえる。

## 【1学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
4月～	・体づくり運動 ※全学年必修 ・新体力テスト ※全学年必修 ・陸上競技（短距離走・リレー、ハードル走、走り幅跳び） ・器械運動（マット運動・跳び箱運動） ・水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ）			保健
5月～				
6月～				

## 【2学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
9月～	・水泳（クロール・平泳ぎ・背泳ぎ） ・球技Ⅰ（バレーボール・ハンドボール） ・陸上競技（長距離走） ・球技Ⅱ（ソフトボール） ・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス・創作ダンス）			保健
10月～				
11月～				
12月～				

## 【3学期の学習内容】

	1年	2年	3年	
1月～	・武道（柔道） ・ダンス（現代的なリズムのダンス・創作ダンス） ・球技Ⅱ（バスケットボール・サッカー） ・体育理論 ※全学年必修			保健
2月～				
3月～				

## 【家庭学習の仕方】

- ストレッチや筋トレ・ジョギング等に自主的に取り組み、体力の向上を図る。
- スポーツをテレビや生で観戦し、関心を高める。

# 令和3年度 技術・家庭科(技術分野) シラバス

## 1 学年

### ◆技術分野の目標◆

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工の技術、生物育成の技術、エネルギー変換の技術、情報の技術についての基礎的な理解と、それに関わる技能・技術と生活や社会、環境との関わりについての能力と態度を育てる。

### 【学習内容】

技術分野の内容は、「A 材料と加工の技術」、「B 生物育成の技術」、「C エネルギー変換の技術」、「D 情報の技術」で構成されています。

技術科では、一人ひとりに応じた学習ができるように、教材・教具を用意しています。

製図、製作、整備、操作などの実習にそれぞれの特徴を生かした実践的・体験的な学習活動を行います。

### ◆3年間での学習◆

1 年生	ガイダンス 生物育成に関する技術を利用した栽培 情報通信ネットワーク 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作	合計 35 時間
2 年生	エネルギー変換に関する技術を活用した製作品の設計・製作	合計 35 時間
3 年生	プログラムによる計測・制御デジタル作品の設計・制作	合計 17.5 時間

### 【授業の約束や用意するもの】

技術科では機械類、刃物類、引火性液体、電気などを取り扱って実習するため、安全に十分留意するとともに、危険のない行動を進んでできるようにしましょう。

また、教科書、学習ノート、指示されたものは毎回持ってくるようにしましょう。

### 【評価の観点・方法・基準】◆技術科では、次の3つの観点で評価をします。

#### (1)「知識及び技能」

作業や実習計画案への積極性、毎時間の学習の取り組み状況（発言等）、作品の製作や実習を通して、基本的な技術が身についたかどうかをレポートやテスト等で評価します。また、その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況、完成するまでの作品や実技テスト、自己評価などで評価します。

#### (2)「思考力・判断力・表現力」

生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして自ら課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、レポート等で表現するなどして課題を解決する力を評価します。

#### (3)「主体的に学習に取り組む態度」

安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に話し合い等で主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしていることを話し合い活動やレポート、自己評価、定期テスト等で評価します。

1 年生では、はじめにガイダンス（3 年間を見通した学習内容の説明等）を受け、生物の育成を学び、実際に植物を育成します。さらにコンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組み、情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを学びます。材料と加工の技術では木材やプラスチック加工を行い、基礎的知識および技能を習得します。

☆年間計画☆

月	章	学習内容	学習のねらい
4	ガイダンス	○3年間の技術・家庭科の内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術・家庭科の学習内容について理解する</li> <li>・学習の準備物・心得について理解する</li> <li>・技術の進歩や情報の働きなどを理解する</li> <li>・丈夫な構造を工夫し、より良いものづくりについて考える</li> </ul>
5	生物育成	○生物の生育環境と育成技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法を理解する</li> <li>・生物育成に関する技術を理解する</li> </ul>
		○生物育成に関する技術を利用した栽培	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的とする生物の育成計画をたて、栽培できる</li> <li>・栽培を生活に生かすことができる</li> </ul>
6	情報	○情報通信ネットワークを調べよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを理解する</li> <li>・情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを理解する</li> <li>・基本的なコンピュータの操作ができる</li> </ul>
	材料と加工に関する技術	○身の回りの木製品を調べよう ○制作品の決定 ①制作品の材料について ②製図の基本について ③（等角図、正投影図）の書き方 ④設計図の完成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木製品の機能はたらしきについて理解する</li> <li>・木製品をつくる上での工夫について調べる</li> <li>・材料の性質や加工法について理解する</li> <li>・木製品と金属、プラスチックの違いについて調べる</li> <li>・機能・使用条件を考慮した作品にする</li> <li>・いろいろな材料について考える</li> <li>・個々に応じて工夫する点を考える</li> <li>・正投影図と等角図の書き方について理解する</li> </ul>
9	技術	○構想図通りに制作しよう ①板にけがきをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料表を作製できる</li> <li>・工程表を作製できる</li> </ul>
10		②けがき線に沿って切断する ③部品を加工する ④組み立てをする ⑤やすりがけで仕上げをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作に必要な工具について調べることができる</li> <li>・きちんと材料取りができる</li> <li>・道具を正しく使用できる</li> <li>・塗装の目的を理解する</li> </ul>
		⑥塗装をする ⑦製作のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作を終え今後の課題を考える</li> </ul>
	まとめ	○技術を受けてきてのまとめ ①生活と資源との関わり ②エネルギーの利用の仕方 ③技術と環境の関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品に使われている資源について理解する</li> <li>・製品を製作するために利用されているエネルギーを理解する</li> <li>・限りある資源をどのように使うか考える</li> <li>・環境に優しい生活ができるように生活を工夫できる</li> </ul>

**【家庭分野の目標】**

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

**【評価の観点・方法】**

**<評価の観点>**

「知識・技能」「思考・判断・表現」

「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

**<評価の方法>**

**①「主体的に学習に取り組む態度」**

積極的に取り組む意欲や態度を重視して評価します。主に、作業や実習、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、学習プリントなどを評価します。

**②「思考・判断・表現」**

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場で自分の考えを深め、工夫したり、創造したりする状況などにより多面的に評価します。（レポートやワークシート、振り返りカード、発表など）

**③「知識・技能」**

「知識」については、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、学習プリントの記入状況、定期テストなどを評価します。

「技能」については、実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうかを評価します。主に、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などにより多面的に評価します。

**【家庭学習のしかた】**

時間	学習内容	学習のねらい
3 5 時 間	○ガイダンス  <b>家族・家庭と子どもの成長</b> ○わたしたちと家族・ 家庭と地域 ・自分の成長と家族 ・家庭のはたらき ・家庭生活を支える仕事 ・わたしたちの家庭生活と地域	・小学校の学習を振り返り、3年間の学習の見直しをもたせる。  ・家庭のはたらき、家族の役割について考え、自分のあり方を考えることができる。
	<b>衣生活・住生活の自立</b> ○自分らしく着る・快適に着る ・日常着の活用 ・日常着の手入れ ・基礎縫い練習 ・環境に配慮した衣生活	・目的に応じた着方、個性を生かす着方の工夫ができる。 ・生活に合わせた無駄のない快適な衣生活を工夫できる。 ・日常着の手入れや補修方法について学び、生活で実践することができる。 ・自分らしさを表現しながら、環境に配慮し、資源を大切に生活の実践について考える。
	○生活を豊かにする物をつくる ・布を用いたものの製作	・布を用いた物作りを通して生活を豊かにする工夫を考えることができる。 ・材料や用具を正しく使い、製作できる。
	<b>食生活と自立</b>  ○健康と食生活 ・食事について考える ・生活のリズムと食事 ・栄養素のはたらきと食品 ・中学生に必要な栄養 ・食品群の分類 ・食事の計画	・食事が果たす役割や健康と食事とのかかわりについて考え、自分の食生活を工夫できる。 ・栄養素について正しい知識を身につける。

休日の食事作りやYシャツのボタンつけなど、授業で習ったことを生活の中で実践してみましょう。家庭での自分の役割を確認し、自立に向け、さらに自分でできることを増やしていきましょう。

令和3年度 朝霞第一中学校 1学年英語科学習案内 (CAN-DO リスト)

<b>目標</b>	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。
<b>特色</b>	話すこと [やり取り] の活動の軸として、「フリートーク」を帯活動として実施する。題材は、教科書の Small Talk のページを活用することとする。

①領域ごとの達成目標

Unit ..... U      Stage Activity ... SA  
 単元名の略し方 ▶ Let's Listen ... LL      Let's Talk ..... LT  
 Let's Read ..... LR      Let's Write ..... LW

Stage	聞く	読む	話す [やり取り]	話す [発表]	書く
1	好きなことや日常的にしていることについての短いスピーチなどを聞いて、主な内容を聞き取ることができる。U1-U5	好きなことや日常的にしていることについて書かれた自己紹介ポスターなどを読んで、主な内容を読み取ることができる。SA1	自分が好きなことや日常的にしていることについて、即興でたずねたり答えたりすることができる。U1-U5	自分が好きなことや日常的にしていることについて、即興で発表することができる。U1-U5	自分が好きなことや日常的にしていることについて、つながりのある文章を書くことができる。SA1
2	身近な人や有名人について、対話やスピーチなどを聞いて、主な内容を聞き取ることができる。LL1	有名人や身近な話題についての紹介文などを読んで、主な内容を聞き取ることができる。U6, U7, U9, LR1	身近な人や有名人について、たずねたり答えたりすることができる。U6, U7, SA2	身近な人や有名人について、発表することができる。U6	身近な人や有名人について、つながりのある文章を書くことができる。SA2
3	体験したことやその感想などについてのクラスメートのスピーチなどを聞いて、主な内容を聞き取ることができる。LL3	物語や体験談などのつながりのある文章を読んで、主な内容を聞き取ることができる。U10, LR2	自分やクラスメートが体験したことやその感想について、たずねたり答えたりすることができる。U10, SA3	自分が体験したことやその感想などについて、発表することができる。SA3	自分が体験したことやその感想などについて、つながりのある文章を書くことができる。U11, LW2, SA3
学年末	はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。(～200語程度)	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。(～40語程度)

②単元の授業計画

4月	授業開き Unit 0 Welcome to Junior High School 学び方コーナー① Unit 1 New School, New Friends	JTE や AET の先生の自己紹介を聞いて、内容を理解できる。 小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる。 自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。
5月	Unit 2 Our New Teacher Grammar for Communication 1 学び方コーナー② 中間テスト	身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。
6月	Unit 3 Club Activities Grammar for Communication 2	いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。

	Unit 4 Friends in New Zealand Grammar for Communication 3	相手に指示したり，時刻や好きなものをたずねたりすることができる。
7月	Unit 5 A Japanese Summer Festival Stage Activity 1 “All about Me” Poster <b>期末テスト</b>	行った場所や，そこで楽しんだことなどについて話すことができる。 自分の好きなことについて，つながりのある文章を書くことができる。
8月 ・ 9月	授業開き Small Talk! 1 Unit 6 A Speech about My Brother Let's Talk 1 お願い 学び方コーナー③ Grammar for Communication 4	夏休みに行った場所や，そこで楽しんだことなどについて話すことができる。 自分と相手以外の人やものなどについて，たずねたり伝えたりすることができる。 身近な人に許可を求めたり，依頼したりすることができる。
10月	Unit 7 Foreign Artists in Japan Let's Talk 2 体調 Let's Listen 1 留学生のプロフィール Grammar for Communication 5 <b>中間テスト</b>	自分と相手以外の人について話したり，どちらなのか，だれのものかをたずねたりすることができる。 相手の体調についてたずねたり，自分の体の不調について説明したりすることができる。 人に関する紹介を聞いて，基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。
11月	Unit 8 A Surprise Party Let's Write 1 お祝い 学び方コーナー④ Grammar for Communication 6 Unit 9 Think Globally, Act Locally Let's Talk 3 道案内 <b>期末テスト</b>	今していることについて説明したり，たずねたりすることができる。 目的に合わせたカードを書くことができる。 したいことや，する必要のあることなどについて説明したり，たずねたりすることができる。 徒歩での道順をたずねたり，教えたりすることができる。
12月	Let's Listen 2 欠席した友達への電話連絡 Stage Activity 2 My Hero Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji	友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。 好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり，説明したりすることができる。 図や表などの情報を参考に，書き手の考えを読み取ることができる。
1月	授業開き Small Talk! 2 Unit 10 Winter Vacation Let's Write 2 旅先からの便り	冬休みに行った場所や，そこで楽しんだことなどについて話すことができる。 過去の出来事について説明したり，たずねたりすることができる。 旅先からの絵はがきを書くことができる。
2月	Unit 11 This Year's Memories Let's Talk 4 レストラン Let's Listen 3 ラジオDJのトーク	過去の状態や気持ち，過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 レストランなどで，注文をしたり質問に答えたりすることができる。 休暇の思い出など日常的な話を聞いて，主な内容を聞き取ることができ

	Grammar for Communication 7 学年末テスト	る。
3月	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year Learning LITERATURE in English Let's Read 2 City Lights	思い出に残った学校行事について発表することができる。  物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。

### ③観点別評価規準と評価方法(＊)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>＊ペーパーテスト等 ＊パフォーマンステスト ＊活動観察</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p>＊ペーパーテスト等 ＊パフォーマンステスト ＊活動観察</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。</p> <p>＊パフォーマンステスト ＊活動観察</p>
読むこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p>＊ペーパーテスト等 ＊パフォーマンステスト ＊活動観察</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p>＊ペーパーテスト等 ＊パフォーマンステスト ＊活動観察</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p> <p>＊パフォーマンステスト ＊活動観察</p>

<p>話すこと 「やり取り」</p>	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>*パフォーマンステスト *活動観察</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。</p> <p>*パフォーマンステスト *活動観察</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p> <p>*パフォーマンステスト *活動観察</p>
<p>話すこと 「発表」</p>	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。</p> <p>*パフォーマンステスト *活動観察</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。</p> <p>*パフォーマンステスト *活動観察</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p> <p>*パフォーマンステスト *活動観察</p>
<p>書くこと</p>	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p> <p>*ペーパーテスト等</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。</p> <p>*ペーパーテスト等</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p> <p>*ペーパーテスト等 *活動観察</p>

\*ペーパーテスト等（期末テストや単元テスト等）の他、言語活動の際に用いるワークシートを指す）

### 観点別評価の評価規準

A : 90～100%達成(「十分満足できる」と判断されるもの)

B : 50～89%達成(「おおむね満足できる」と判断されるもの)

C : 49%以下(「努力を要する」と判断されるもの)

\*達成率は、目安です。テストの平均点や問題のバランスにより多少変化します。

**観点別評価と評定の対応関係** 3つの観点の合計から評定を算出します。

《評価の例》 Aを3点, Bを2点, Cを1点に換算する

AAA (9点) → 5 「十分満足できるもののうち, 特に程度が高い」状況と判断されるもの

AAB (8点) → 4 「十分満足できる」状況と判断されるもの

ABB, BBB, BBC (7・6・5点) → 3 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

BCC (4点) → 2 「努力を要する」状況と判断されるもの

CCC (3点) → 1 「一層努力を要する」状況と判断されるもの

## ④家庭学習のしかた

### 《聞く》

・単語や教科書の本文を音声で確認してみよう。

①音だけ ②文字を見ながら ③聞き取れたものを書いてみる と, 慣れてきたら方法を変えてみよう。  
同じものを覚えるまで繰り返し聞いてみよう。

### 《読む》

・音読は, 正しい発音と文法を同時に覚えることができる勉強方法です。教科書を見ながら, たくさん口を動かして, 身体に英語をしみこませよう。

### 《話す》

・英語の勉強は真似をするところから。授業で覚えた英文を, 先生の真似をしながら口に出してみよう。  
・AETの先生に積極的に話しかけてみよう。

### 《書く》

・正しいスペルを覚えるには, 口と手を動かすことが必要です。その日に習った単語や文を声に出しながら, 家庭学習ノートに書いてみよう。その時に, 青いペンを使うと集中力が増すとされています。見本を見なくても書けるようになるまで, 繰り返し練習しよう。

## ⑤使用教材

①教科書 (東京書籍 NEW HORIZON English Course 1)

②ファイル (オレンジ)

③新英語のワーク 1

④英語の語順ドリル (バラ)

⑤NEW HORIZON English Course 学習ノート (前期) (後期)

